

明治は西本願寺門前町から始まったプロジェクト

おもてなし隊

▶担当 井口富夫 ▶電話 090-6737-0980 ▶メール tomioiguchi@aim.com

事業目的・背景

- ①背景
 - ・西本願寺門前町から賑わいが消えて久しい。
 - ・西本願寺門前町は、宗教と仏壇仏具のまちと思われている。
 - ・西本願寺門前町には、リピーターが極めて少ない。
- ②事業目的
 - ・地元住民・事業者を対象に、西本願寺門前町のこれからの発展には観光業が必要不可欠であることを理解してもらう。
 - ・来訪者におもてなしの心で接し、地域の新たな魅力を広く国内外へ発信する。
 - ・西本願寺門前町と新撰組の関係をPRする。

事業概要

- ・幕末維新时期以降の門前町の変遷に関する聞き取り調査
- テーマ：門前町における新撰組の足跡、明治の廃仏毀釈運動と仏教寺院の対応、旅館と仏壇仏具店の事業継承
- ・「油小路事件」をテーマとした歴史ショーと門前町の変遷に関するワークショップ
 - ・演技は、「NPO法人乙訓戦国つつじ」に依頼
 - ・新撰組史跡めぐり絵地図(日本語版と英語版)の作成と寸劇による解説付きガイドツアー
 - ・上記の成果を公開するためにWebサイト・SNSの開設・更改と活動報告書の作成

活動期間

- ①発足・設立時期
平成30年4月
- ②活動目的
 - ・地元住民・事業者および来訪者におもてなしの心で接し、地域の魅力を広く国内外へ発信する。
 - ・児童・青少年の健全育成と心豊かな日常生活の促進に資する。
- ③活動内容・実績
 - ・活動内容:「おもてなし隊」事業、観光ガイド事業、観光資源の発掘事業
 - ・実績:平成30年度に、聞き取り調査、時代劇ショー、ワークショップ、まち歩きを実施

成果

- ・宗教と仏壇仏具以外に、西本願寺門前町の新たな魅力として、新撰組を広く国内外にアピールすることができた。
- ・リピーター候補として有望な修学旅行生に、西本願寺門前町の魅力を伝え、西本願寺門前町へ再び戻ってくるきっかけ作りになった。
- ・地元住民・事業者を対象として、新撰組の足跡、明治期の仏教寺院、旅館と仏壇仏具店の事業継承等に関して聞き取り調査を広範囲に実施することによって、門前町の歴史と現状に関心を持ってもらうきっかけになった。

今後の予定

- ・新撰組史跡めぐり絵地図(中国語版とハンガール語版)の作成
- ・聞き取り調査の継続実施
- ・修学旅行生と外国人を対象にして、まち歩きの実施
- ・新型コロナウイルスの影響調査



時代劇ショー「新撰組・油小路の血闘」:
油小路通木津屋橋辺りで、新撰組に殺害された伊東甲子太郎を中心人物とした時代劇ショーを開演し、新撰組と西本願寺門前町の係わりを実感してもらった。



ワークショップ「幕末から明治にかけての西本願寺門前町」をテーマとして、浄土真宗本願寺派一念寺の住職である谷治暁雲師に話題提供してもらった。



西本願寺門前町で新撰組に所縁のある地を、「NPO法人乙訓戦国つつじ」のメンバーに依頼して、寸劇付きのガイドツアーを実施した。